

シマフクロウの生態

## 最多の雛標識数

シマフクロウ保護・研究家 山本純郎

1985年から始まった雛への標識調査ですが、当初の標識雛はたったの2羽だったものが、今年は最多の雛数37羽に標識しました。すでに新聞発表でご存じと思いますが---

今年の標識調査開始時は繁殖成功の常連の場所がたてつけに失敗し、20羽もいかないかもと話していましたが、予想に反して多くが巣立ちしてくれて喜んでおります。

このように多くの雛が誕生したのは、全く増殖事業を行っていないエリアでの営巣が確認されたことによるものです。まさしく我々の望んでいたことです。このようなことが増え続ければ増殖事業の終わりも見えてきますが、まだまだ気を許せないのが現状です。関係者一同決意を新たに出發します。

しかし一方では増殖事業を行っている場所で繁殖中にもかかわらず、撮影に没頭するカメラマンがいました。注意しても聞いてくれず、管理者にお願いし林道閉鎖を行ってもらいましたが、それでも入林し撮影を続けていました。結局管理者が直接本人に連絡をとり、一応決着しましたが、本人はあまり反省していないようです。撮影等は全くダメではなく、



放鳥後



標識直後の幼鳥



放鳥後2ヵ月

鳥の状況を踏まえて、悪影響の出ない範囲で留めてほしいものです。さらに増殖事業を行っている所については国の予算を使って行なっているので、これは止めるべきです。

森を散策中にシマフクロウに出会ったら、まずは環境省に連絡してください。その一報がシマフクロウの保護、増殖、研究に繋がるのでよろしくお祈りします。



●今回は、コロナ禍でなかなか講演会やイベントが開催できない状況の中、明るい話題として札幌市円山動物園のシマフクロウの初のヒナ誕生について報告させていただきました。健やかな成長をお祈りしたいと思います。

### ●賛助会員・寄付を募集しています

当会の活動趣旨にご賛同いただける法人・個人の皆様の賛助会員ご入会とご寄付を募集しています。

当会のホームページから手続きができるようになっておりますので、ぜひご覧ください。

また当会は「認定NPO法人」になりましたので、当会に対する寄付金・賛助会費は税制上の優遇措置を受けることができます。(詳しくは当会ホームページのお知らせをご参照ください)

【認定NPO法人北海道シマフクロウの会 事務局】(担当:米谷・久保木)

〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階 (株)北海道二十一世紀総合研究所内 TEL 011-231-8681 FAX 011-231-8683

URL: <https://hokkaido-shimafukurou.org/> E-mail: [info@hokkaido-shimafukurou.org](mailto:info@hokkaido-shimafukurou.org)

# 北海道 シマフクロウ通信

特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会 機関誌

第29号



眠そうな雌親

写真: 山本純郎



## 令和3年度通常総会（みなし開催）

NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

令和3年度の当会第1回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、実際の開催に代えて書面表決によるみなし開催とし、開催日は令和3年6月14日（水）としました。

本総会では、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度事業報告・決算および令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度事業計画・予算についてご審議いただき、いずれも異議なく可決されました。

議案内容の要旨は次のとおりです（詳細は当会ホームページに掲載しています）。

### 令和2年度事業報告

- クラウドファンディング方式による寄付金の募集実施（令和2年7月20日～9月21日）
- 機関誌「北海道シマフクロウ通信」の発行（令和2年5・9月、令和3年1月）
- 第2回シマフクロウ保護活動支援金贈

呈（シマフクロウの保護活動に直接携わっておられる6名の方々およびシマフクロウの飼育・繁殖・展示啓蒙に尽力されている3地域の動物園への支援金贈呈）

### 令和2年度決算

- 経常収益：2,496千円（正会員・賛助会員会費・寄付金ほか）
- 経常費用：3,238千円（事業費：2,512千円（支援金贈呈・機関誌発行など）  
管理費：726千円（事務局事務委託・ホームページ管理など）
- 期末正味財産：3,849千円（次期繰越正味財産額）

### 令和3年度事業計画

- 機関誌発行（年3回発行予定、会員のほか各公共施設等へ配布）
- WEBサイトでの発信（ホームページ等での活動広報、情報発信）
- シマフクロウの保護等に携わる方々・

団体への支援（シマフクロウの保護活動など生物多様性保全に取り組む団体・個人へ支援金贈呈を通じた支援実施）

- シマフクロウ保護に関する啓発を兼ねた支援金原資募集のためのクラウドファンディングの実施

- エッセイ集「羽ばたけ！シマフクロウ」の発行・配布（会員ほか公共施設等）

### 令和3年度活動予算

- 経常収益：2,620千円（正会員・賛助会員会費・寄付金ほか）
- 経常費用：3,550千円（上記事業計画関連予算）  
事業費：2,852千円（支援金贈呈・機関誌発行など）  
管理費：698千円（事務局事務委託・WEB関係費用ほか）
- 期末正味財産：2,919千円（次期繰越正味財産額）

NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

## 札幌市円山動物園で初めてシマフクロウのヒナが誕生しました



母親「レイン」（右側）とヒナ（左側） 札幌市円山動物園提供（5月16日撮影）

札幌市円山動物園では、釧路市動物園から借り受けているオスのクックとメスのレインの2羽のシマフクロウを飼育していますが、去る5月13日に1羽のヒナの誕生を確認して公表しました。

同動物園では、2016年からクックとレインの飼育下繁殖に取り組み、2019年に初めての産卵を確認しましたが孵化には至りませんでした。今回は3月中旬に産卵、4月下旬に孵化したものと推定されています。

当会といたしましても、絶滅が危惧される状況下で誕生した貴重なヒナの今後の健やかな成長をお祈りいたします。

NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

## 第3回クラウドファンディング実施のお知らせ

当会では、一昨年、昨年に引き続き、本年もシマフクロウの保護活動に取り組んでいらっしゃる皆様への支援を継続的・安定的に行っていくとともに保護活動に対する啓発を図るため、8月16日から10月15日の期間で、北海道新聞様のご協力の下に、クラウドファンディング方式によるご寄付の募集を行っています。

つきましては、本趣旨にご賛同いただけます皆様におかれましては、クラウドファンディングへのご寄付のご協力、また知人の方々へのPRにも是非お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なおインターネットを通じた応募とな

っていますので、手順や送金方法につきましては、8月16日付で皆様にお送りしましたご案内文書をご参照ください。

お寄せいただいたご支援は、今後、諸手続きを経て、寄付金の贈呈先、金額等を決定し、対応を進めてまいります。その内容につきまして、ホームページ等を通じ皆様にも改めてご報告させていただきます。

### 第3回クラウドファンディング

- 目標額 500千円
- 募集期間 8月16日（月）～10月15日（金）
- 募集運営 find・H（北海道新聞社）

## 北海道シマフクロウの会応援自動販売機を設置していただいています



現在、サントリービバレッジサービス株式会社様が2台、ポッカサッポロ北海道株式会社様が4台、合わせて6台の応援自動販売機を設置していただいています。この自販機の売上の一部を当会へご寄付いただき、シマフクロウの保護活動及び北海道の生物多様性の保全に役立てています。

- サントリービバレッジサービス株式会社 ●大成建設(株) 北海道科学大学高等学校 校舎新築工事現場 ●札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

## 保護活動支援金の贈呈に対し、旭川市から感謝状をいただきました

